

「除染」を考える

八月二四日、前政府は原子力災害現地対策本部内に『福島除染推進チーム』を立ち上げ、九月上旬から避難区域等の除染を行うと発表しました。「警戒区域」と「計画的避難区域」は国が除染し、他の地域は各自自治体が行うとのこと。

これに先立って、福島市・南相馬市・伊達市等の幼稚園・小中学校などは、校庭や校舎の除染をしました。建物を高圧洗浄機で洗浄し、校庭の表土は重機で除去して新しい土と入れ替える作業。その結果、放射線量は半減したそうです。

しかし、「これで子ども達は安全だ」と言えるのでしょうか？ 原発からは今も毎時約2億ベクレルの放射能が出続け、それは新しい表土を汚染します。除染の効果は全く一時的です。住民の安全を守る真に有効な手立てを考えるべきです。

洗浄に使われた水は放射能汚染水となり、最終的には海洋を汚染します。削り取られた表土は放射性廃棄物ですが、処分方法がありません。事故以来、原発から出た放射能ゴミだけでも既に莫大な量です。そこへ今後、除染によって生じる夥しい放射能ゴミが累積します。ゴミからも放射線は出ます。

本紙・三号でレポートした八月十四日のシンポジウム『福島原発事故から何が見える？』で、講師の小泉好延さんは「生活環境の全てを除染することは不可能だ。山野や耕作地に蓄積された放射能の除去は実際上無理だし、原発からの放射能飛散は続いているのだから」との見解でした。

東京でも、子供の遊び場の自主的な除染が始まりました。やがて関東全域で問題になるでしょう。新政府には抜本策を講じて欲しい。放射線学者の小出裕章さんは「福島県を丸ごと移転させる程の対策が必要だ」と言っています。せめて子ども達だけでも、安全地域への避難は出来ないでしょうか？

情報が得られます。お問い合わせでご参加ください！

全国 1000 万人
アクション！

★原発にさようなら集会★

5万人集会 (1000万署名&集会後パレードあり)

日時：2011年9月19日(月) 13:30～

場所：東京・明治公園(JR千駄ヶ谷駅より5分)



呼び掛け人：内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一
澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔

お問い合わせ：
Tel・03-5289-8224

講演と交流の集い

講演：『放射線のいろは』

＝知識を増やして不安を減らそう＝

講師：藤井石根氏(明治大学名誉教授)

交流：「福島の現実を知ろう」

(報告者・椎名千恵子さん)

日時：9月18日(日)13:00～16:30

場所：玉川学園文化センター・ホール
(小田急線玉川学園前駅北口2分)

主催：原発を考える会

お問い合わせ：Tel・090-1993-2795

【福島より・声の便り】
八月いっぱい猪苗代の避難所から、福島市内の仮設住宅に移ります。数日前、当面の生活用品を運び込んだところなの。避難所では皆、何もすることが無くて、「なんでこんなことになったんだべなあ」と嘆くことが多かった。これからはそれではないかと思つて、仮設に入ったら何か少しでも働こうと考えたの。六十過ぎでも出来る仕事を探して、週に2回でも3回でも外の世界に触れたいと思つて。双葉町にはいつ帰れるか分からない。だから、それまでの生き方を変えなければと思つてる。自分が変わらなければ何も変わらない。地に足をつけて、前向きに生きるからね！(≪双葉町・Mさんの電話≫)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。